

# 家庭・技術・家庭 家庭分野

【ICTを活用するポイント】児童生徒が、生活経験や情報を共有するとともに、活動等を常に可視化しながら自己理解や自己評価し、改善策を検討する。

## 子供の視点から



○生活の課題発見の場面  
例えば・・・  
・撮影しておいた生活事象の前後の写真や動画等を同時に閲覧することにより、生活の中にある問題を見いだしたり、一人一人の問題意識や気づきをメモに入力し、データを共有することで、課題設定につなげたりできそうです。



豊かな生活につながる授業

## 問題解決の過程の視点から

○実践活動・評価・改善の場面

例えば・・・  
・中学校「幼児との触れ合い」



では、触れ合いの様子を互いに動画撮影し合うことで、各自の関わり方の様子を可視化し、自己理解や自己評価・改善に生かすことができそうです。

- ・小学校「1食分の献立づくり」では、各自が改善した献立をクラウド上に保存しクラス全体で共有することで、考えを深めることができそうです。
- ・クラウド上に保存した学びを家族と共有することで家庭実践にもつながりそうです。

## 教材の視点から

○素材の教材化

扱う素材から効果的なICTの活用について、検討します。

例えば・・・

- ・布を用いた製作の場面で、工夫したことやうまくいったこと、困ったことなどを表計算ソフト（スプレッドシート）で常に共有しながら、製作を進めていくことで学びの広がりや深まりにつながりそうです。
- ・住まいの危険箇所や対策を考える場面で、間取り作成アプリで作成した仮想の住居を3Dビューで確認し、家族の目の高さなどで危険箇所等をシミュレーションすることで、考えが広がりそうです。

## StuDX Style (文部科学省より)

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/mext\\_00010.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_00010.html)



# 実践報告 小学校6年生「ピカピカ大作戦」

## アップデートしよう

- ①クラウドを活用した思考の整理と積み重ねの学習カード
- ②班での学び合い（協働作業）
- ③全体共有してから振り返る（終末の振り返り活動の充実）

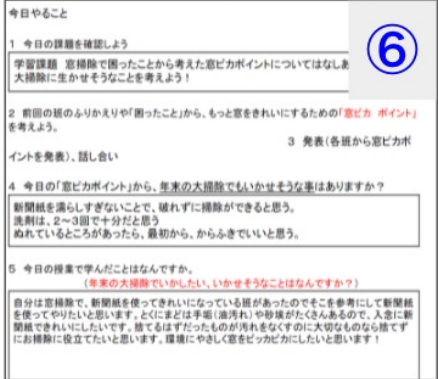
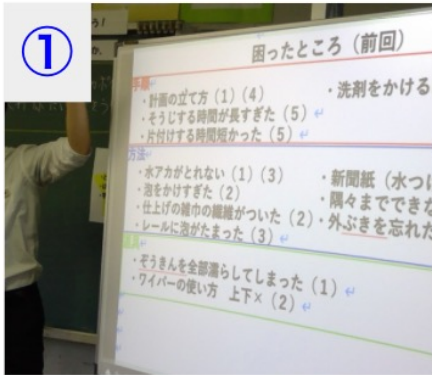
## 使用したアプリ

- ・付箋ツール
- ・文章作成ソフト（ドキュメント）

## 本時のねらい

窓掃除の方法の課題を見つけた子供たちが、各班の掃除の結果を付箋ツールで共有し、「お掃除ポイント」を考えることを通して、場所や汚れに応じた改善策を考えることができる。

導入	振り返り	課題把握をする（写真①） ※前時の振り返りから3つの視点「手順」「方法」「道具」に着目し、改善の方法について見通しをもつ。	★立てた計画や実践活動の成果と課題について、検討する場面で、思考を整理するために活用しています。 ★学習カードをクラウドに蓄積することで各自が学びを振り返り次時への課題をもつことができます。
	展開	班で「窓ピカポイント」を考える（写真②③④） ※前時までの付箋ツールが共有されているため、比較しながら意見交換し付箋に書き込む。	
終末	共有	本時を振り返る（写真⑤⑥） ※クラウドで共有した成果と課題をもとに、自己の課題に立ち返って考えを再整理する。	



### 児童生徒の姿から

教師は、写真①を示しながら「このようにたくさんの困ったことが出てきましたが、どうしたら解決できますか。」と発問しました。

児童からは、「窓を拭く方向を縦にしてみたらよいのでは？」など、意見が出されました(写真②)。その後、「もう一度、自分たちの班の手順などを見直したい」という意見が出され、これまで付箋ツールに班でまとめてきた手順や振り返りを活用して、解決の方法を班で探りました(写真③)。

さらに窓がきれいになることを意識し、「窓ピカポイント」を班で意見を交わしながら付箋に書き込みました。他の班のシートが常に共有されているので、自分たちのシートと他の班のシートを比較でき、新たな視点に気づくなど、考えを広げていきました(写真④)。また、発表を聞く場面では、発表している班の資料を手元の端末で確認できるので、発表した班の掃除方法を確認するなど、自分の課題意識とつなげて発表を聞く姿もありました(写真⑤)。

終末の振り返りでは、「捨てるはずだった新聞紙が、汚れを取るために大切なものなら、捨てるに掃除に役立てたい。」と、新たに得た環境に配慮する視点を踏まえた意見や、「自分の家だったら、どこで新聞紙を使った掃除ができるかな」と、自分の家庭と結び付けて、次へのねがいや課題をもつことができました(写真⑥)。

### 授業者の先生から

普段から、教科横断的に端末を使うようにしています。児童は抵抗感なく端末を活用し、タイピングだけでなく、アプリの活用にも慣れてきました。本題材では、意見交換をするための資料をクラウドにアップしたり、学習カードを蓄積しポートフォリオ的に活用したり、友と共有したりすることで、本時の導入が充実しました。今後は、振り返りの場面において、付箋ツールや表計算ソフトなど有効的に意見を共有できるような活用もしていきたいです。

### この事例のポイント

- ・ 班で、付箋ツールを用いて実践結果を比較し、見直したいこと、次回試したいこと等を色分けして整理したことは、活動の意味を意識することにつながった。また、そのボードをクラス全体で共有したことで、自分たちの活動を友の考えと関連付けたり、多角的な視点から振り返ることができた。
- ・ さらに複数の要素を軸に掃除方法を相関図に整理するなどすることで思考を深めることが期待できる。